

第 65 回東播八市親善卓球大会 参加の皆様へ ご挨拶

2022年11月13日
三木市卓球協会
会長 塩谷英雄

皆様へ やっと、開催出来ました。この一言です。

1. 東播親善卓球大会の歩み

昭和29年(1954).6.1 三木市発足(市制68年目)、同年7.1 三木市体育協会(現スポーツ協会に2022.5.31改称)が結成されました。また、私共の三木市卓球協会も同時に設立されました。

そして、この親善大会も同年から東播地域の7つの各市卓球協会により開催されることになったと、先人・先輩達から聞いております。

よって、2年の延期が無ければ、本来は第67回として2018(H30)年から新加盟された、加東市さんの開催であったかと思えます。

さて、本大会での当三木市の奮闘も少し自慢させて下さい。

私自身も高校生時代から市代表選手として参加させて貰いました、選手として強かったわけではなかったし、三木自体も当時は弱小市だったからこそ、選出されており、試合ではいつも負けていました。ほかの市の選手が強くて、あまり楽しくなかったな、と思い起こしています。

私が20歳代なかば頃には、高校生、大学生で成長した年下の選手達が活躍し始め決勝戦に行くまでになりましたが、勝てない万年2位の三木という時代になりました。しかし、あの阪神淡路大震災があった平成7年(1995)から9年に掛けて三木市は3年連続優勝を果たし、三木市卓球協会として非常に感激した出来事と記憶しています。

2. 新型コロナウイルスとの戦い、本年開催に至って(背景)

本年はコロナ対策により、恒例規模の試合数を縮小しての開催となります。一般の部は、11試合を7試合に、ベテランの部は7試合から5試合にです。

近年定着した7月過ぎに行う事前の代表者会議を、2020年7月、2021年8月は、20日からの緊急事態宣言により中止、2022年8月と、中止も含め3回開催し、最後はアンケートで八市による意思決定となりました。計4回による調整が行われました。各市の役員の皆様には、多大なご協力ご支援に感謝申し上げます。

なお、蛇足となりますが、コロナ過により、2020年からIT技術を取り入れ、といってもメールですが、各市役員との意思疎通にメールもようやく取り入れ、各連絡のスピードアップも図りました。

3. 三木市のご紹介

さて前回の三木市開催から9年経ちましたので、三木市のお国自慢をさせていただきます。

戦後時代、歴史でもよく知られている三木合戦によりって荒廃した町を豊臣秀吉の復興策で高工業が活発化し、今日の金物産業の発展の基礎を作られたと云われています。

三木は酒米の山田錦の主生産地であり、三木金物ブランドも全国的に有名です。今回は、その金物をあしらったストラップを参加賞としました。

また、数多くのゴルフ場があります。「三木ホースランドパーク」「山田錦の館」「吉川温泉よかたん」「ネスタリゾート神戸」など、観光資源も多彩です。試合以外でも是非にお越し頂くようお願いいたします。

本日参加の皆様へ

先程、コロナとの戦い、本年開催に至ってにおいて申しましたとおり各市も短期間での選手選考に大変ご苦勞されたと存じます。

選手の皆様には、大会開催に至るには、このような背景があることも知って欲しいです。

そのうえで、各市の誇りを懸けて思う存分、力を発揮して下さい。戦いが終われば、互いの親善そして、友好を深めて下さい。

最後に、本日参加頂きました、各市選手並びに役員の皆様へ感謝申し上げます。

コロナに負けず、大いに楽しく、そして戦って下さい。
ご健闘をお祈り ご挨拶とさせていただきます。